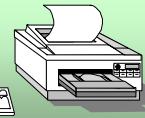


「SpectraView」リアルタイムFFT解析 & 後処理rpmトラッキング解析パッケージの価格構成は？

SpectraView
TEAC用リアルタイムFFT+後処理
rpmトラッキング解析パッケージ

自動車、重電、家電製品等



リアルタイムレコーディングユニットLX-120
最大32チャンネル（本体16チャンネル+拡張ユニット）

■自動車・産業機械・家電製品等におけるリアルタイムFFT解析や後処理回転振動解析ができます。

- ・最大32点の高速波形データを収集しながら、リアルタイムにFFT解析が可能です。
- ・マニュアル、ワンショット、リピートトリガー計測で、3チャンネルのAND/OR条件を指定できます。
- ・TY、XY、バーグラフ、4チャンネルFFTグラフのリアルタイム表示が可能です。
- ・計測条件は複数保存することができるので、繰り返し行なう試験も簡単に操作できます。
- ・ハンマリング試験（多チャンネル伝達関数：FRF）もできます。

■後処理のFFT、回転振動解析ができます。

- ・計測データを呼び出して、TY、XY、FFTグラフ表示を始め、FFT3次元、カラーコンターの表示や印刷、波形演算、フィルタ処理、アベレージング、音声再生、テキストファイル変換等、多彩な解析機能を行なえます。
- ・回転機械の振動解析に欠かせない定比、定幅トラッキング解析ができます。トラッキング3D、rpmトラッキング、回転次数比グラフ、キャンベル線図表示が可能です。
- ・お客様のご要望により、有償でパッケージの改造を行います。詳しくは当社にお問い合わせ下さい。

●使用機器／標準価格例について（パソコンは別途必要）

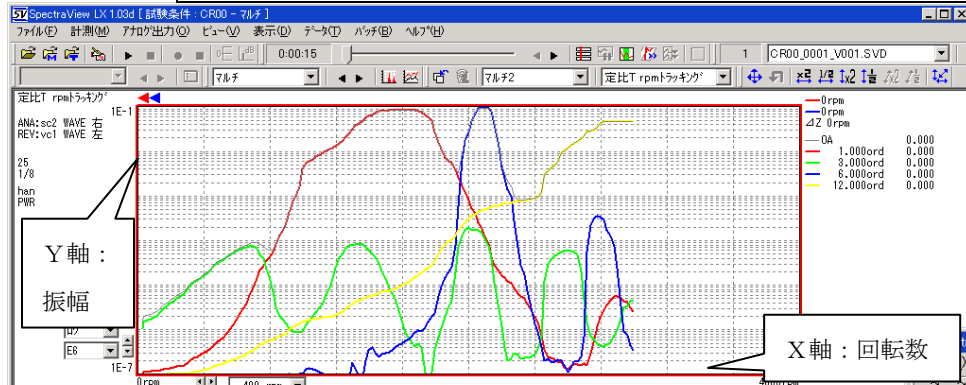
①LX-120 8チャンネル入力ベースモデル 電圧入力アンプ内蔵、100BASE-TX 付き	¥1,100,000
②リアルタイムFFT解析パッケージ 「SpectraView」VER2	¥218,000
③後処理トラッキング解析オプション	¥350,000
④現地立会費用（地区により8～15万円）	別途
合計 金額（税なし）	¥1,668,000

定比トラッキングの場合には回転数入力
はLX120の場合
タコ入力か電圧で、定
幅の場合には電圧で
入力します。

使用OS	WindowsXP/2000 ウィンドウズ7、VISTAは対応予定。
CPU	Pentium4以上
必要メモリー	512MB以上
ハードディスク容量	（計測時間、チャンネルにより決定）
ディスプレイ	カラーXGA（1024×768）以上
プリンタ	Windows対応プリンタ
インターフェース	イーサネット/IEEE1394

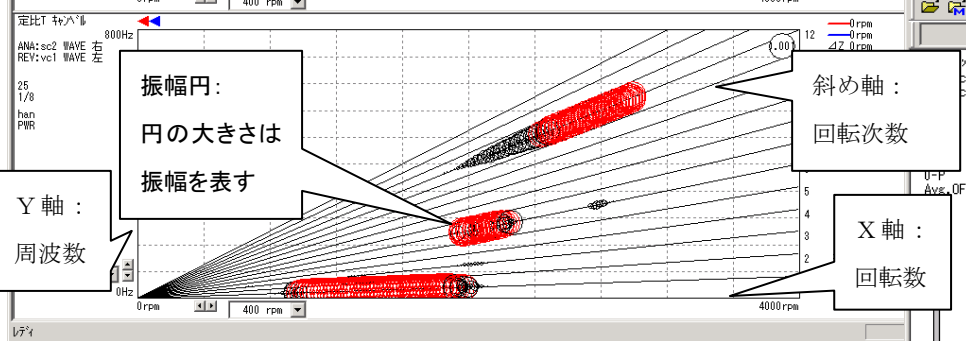
*詳細は当社又はTEAC代理店にお問い合わせ下さい。

Spectra View 画面例 : 後処理rpmトラッキング、キャンベル線図とトラッキング3Dグラフ

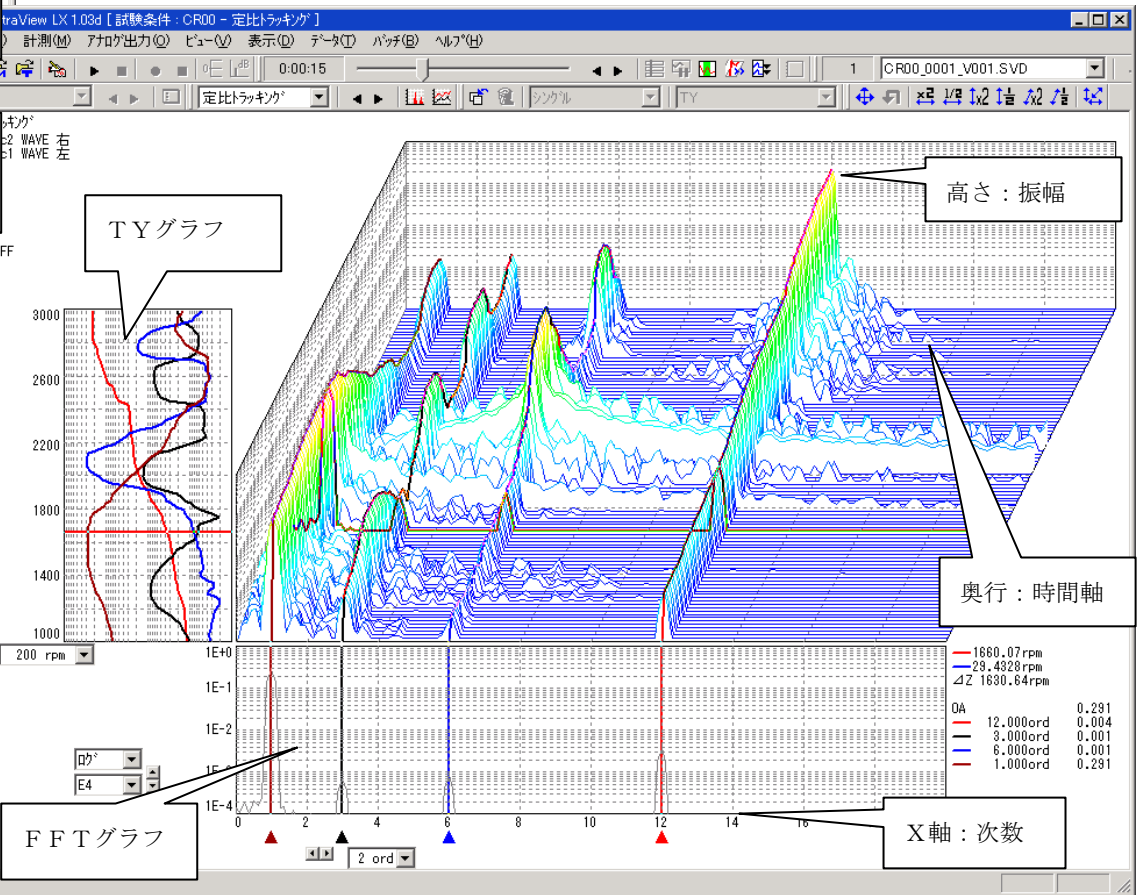


rpm トラッキンググラフ

トラッキング3Dグラフ



キャンベルグラフ
振幅が大きい所がひと目で分かる



回転振動解析のポイントは回転数を変化させた時の振動レベルをグラフ化し、共振状況を把握することです。